

参考文献

- ・JST 中国総合研究・さくらサイエンスセンター『中国の科学技術の政策変遷と発展経緯』2019年
- ・林幸秀『科学技術大国中国』中央公論新社 2013年
- ・林幸秀『北京大学と清華大学』丸善プラネット社 2014年
- ・林幸秀『中国科学院』丸善プラネット社 2017年
- ・林幸秀『中国の宇宙開発』アドスリー社 2019年
- ・林幸秀『中国のライフサイエンス研究』実業公報社 2020年
- ・JST/CRDS『中国の科学技術力について～世界トップレベル研究開発施設～』2012年
- ・田中仁ほか『新図説中国近現代史』法律文化社 2012年
- ・天児慧『中華人民共和国史』岩波新書 2013年
- ・天児慧『中国の歴史 11 巨龍の胎動』講談社 2004年
- ・安藤正士『現代中国年表 1941～2008』岩波書店 2010年
- ・文部科学省科学技術・学術政策局『科学技術要覧令和元年版』2020年
- ・文部科学省科学技術・学術政策研究所『科学研究のベンチマーキング 2019』2019年
- ・横井和彦、高明珠『中国清末における留学生派遣政策の展開』2017年
- ・河村豊『「中国科学技術政策史」の試み（その1）』2012年
- ・河村豊『「中国科学技術政策史」の試み（その2）』2012年
- ・藪内清『中国の科学文明』岩波新書 1970年
- ・イヴァン・ウィルのブログ（ココログ）<http://ivanwil.cocolog-nifty.com/>

その他、web サイト、中国語版の百度および日本語版のウィキペディアを参考とした。

あとがき

本書は、著者が属する公益財団法人ライフサイエンス振興財団の業務の一環として作成したものである。同財団は、日本国内のライフサイエンスにかかわる研究者に対する研究助成を中心業務としているが、ライフサイエンスを含む科学技術全般についての調査も実施しており、本書はその業務として実施した。

「はじめに」でも述べたように、筆者が国立研究開発法人科学技術振興機構中国総合研究・さくらサイエンスセンターが作成した『中国の科学技術の政策変遷と発展経緯』に関与したことから、本書籍の作成について着想を得た。内容的にもこの報告書を大いに参考としており、同センターの沖村憲樹上席フェローや米山春子副センター長に改めて感謝の意を表したい。

また、科学技術振興機構元北京事務所長の渡辺格氏及び公益財団法人環境科学技術研究所常務理事の伊藤宗太郎氏からは、中国の政治経済の歴史を含めた全体的なご意見をいただいた。ちなみに渡辺氏は「イヴァン・ウィルのブログ (ココログ)」の執筆者である。

そのほか、文部科学省科学技術・学術政策局政策課上田智一総括補佐及び令夫人の河合玲佳さん、科学技術振興機構北京事務所の茶山秀一所長、李清副所長、さらには中国科学院の邱華盛元国際合作局副局長から、本書籍に対して貴重なご意見をいただいた。

これらの方々に深く感謝申し上げたい。

2020年9月
国際科学技術アナリスト
林 幸秀

著者紹介

林 幸秀 (はやし ゆきひで)

公益財団法人ライフサイエンス振興財団理事長兼上席研究フェロー。国立研究開発法人科学技術振興機構中国総合研究・さくらサイエンスセンター特任フェロー。国際科学技術アナリスト。

1973年東京大学大学院工学系研究科修士課程原子力工学専攻卒。文部科学省科学技術・学術政策局長、内閣府政策統括官（科学技術政策担当）、文部科学審議官、宇宙航空研究開発機構（JAXA）副理事長などを経て、2017年より現職。

著書に『科学技術大国中国～有人宇宙飛行から、原子力、iPS細胞まで』、『北京大学と清華大学～歴史、現況、学生生活、優れた点と課題』、『中国科学院～世界最大の科学技術機関の全容、優れた点と課題』、『中国の宇宙開発～中国は米国やロシアにどの程度近づいたか』、『中国のライフサイエンス研究』など。